



## 夏に多い感染症

ウイルス感染によって起こる病気です。他人への感染力も強いので、必ず受診をして医師の診断を受けましょう。

**ヘルパンギーナ** 突然の高熱と喉の痛み、口の中の水ほう、口内炎が特徴です。症状が軽ければ1～4日くらいで解熱します。

**プール熱（咽頭結膜炎）** プールで感染することもあり、高熱が3～5日くらい続き、喉の痛み、目の充血やかゆみなど結膜炎のような症状も出ます。食事は消化のよい物を食べましょう。

**手足口病** 手の平、足の裏、口の中に水ほうができ、発熱することもあります。食事は喉越しのよい物を食べましょう。

**流行性角結膜炎** 目が腫れ、充血し、普段より多く目やにや涙が出ます。周りの人への感染源となるので、タオルは共有しないようにしましょう。

春に配信した【こんな症状の時は登園を控えましょう】を参考にいただき、しっかり静養してください。



### 歯科検診・内科健診・検尿 終わりました。

受診の必要性がある方に用紙を配布しました。検診で異常がなかった方も半年に1度は歯科にて検診を受けましょう。結果はサポートブックに健診結果、身体測定も記入お願いします。

検尿検査については、全員異常なしでした。ご協力ありがとうございました。

### 熱中症指数計を使用しています

今年は6月には30度以上となって暑い日が続きました。保育園では園庭にも熱中症指数計を使用して、数値を確認しながら熱中症対策を行っています。

数値が高い場合は屋外（プール含）での活動を中止して室内で過ごします。

※熱中症対策として

朝食はしっかり食べて登園する。

睡眠をしっかりとる。

いつもと違う体調と感じたら登園時職員にお知らせください。

